

## ★更衣室の感染対策

プール施設において最も感染リスクを考慮すべきは「更衣室」と云われています。アクラブでは、飛沫感染だけでなく飛沫核感染の可能性を視野に床面の清拭(除菌消毒)作業を行っています。また、万が一、新型コロナウイルスが館内に持ち込まれたとしても、それが滞留しないよう、更衣室内の換気対策を講じています。

具体的には、最も更衣室が混み合う時間帯(お子様クラスの入れ替わりのタイミング)を中心に1,000ppm を基準とした二酸化炭素濃度のモニタリング(と対策)を行っています。モニタリングにおいて、二酸化炭素濃度は概ね 500ppm～800ppm の範囲内で推移しています。ごく稀 1,000ppm を超える場合には、窓の開放などを行い速やかに 1,000ppm 以下に誘導しています。

※ヒトが呼吸に伴って吐き出す二酸化炭素濃度(CO<sub>2</sub>)は、密集した環境では高くなりますし、換気が十分に行われないと一層高値を示します。二酸化炭素濃度は空間の換気状態を把握する大きな指標と云われています。学校教室などにおいては、文部科学省が学校環境衛生基準において 1,500ppm(0.15%)と目安を定めています。厚生労働省所管のビル(衛生)管理法における空気環境基準として 1,000ppm(0.1%)という基準があります。また、一般的に空気中の二酸化炭素濃度は 400ppm(0.04%)程度と云われます。